

# Mini Disclosure

2024

JALしみずの概況  
ミニディスクロージャー誌



## ごあいさつ

組合員や地域の皆様には、平素より、ご理解・ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

日頃よりお取引をいただいております皆様に、JAしみずの経営方針や経営内容をわかりやすくご紹介するため、本年もディスクロージャー誌を作成しましたので、何卒ご高覧いただきますようお願い申し上げます。

2023年度は、年度初めに新型コロナウイルスの感染法上の位置づけが5類に引き下げられたことによって、経済活動が活発化し多くの国と地域において景気回復の流れが顕著な1年となりました。米欧諸国が政策金利の引き上げに動くなか、低金利政策を維持する日本との金利差拡大を意識した円安が一段と進行するなど日本国内ではあらゆるモノの価格が高騰しており、農業経営や農業者の生活環境は厳しさを増しております。また、農協経営においてはブランチンブランチ方式を導入した金融店舗の再編成や、IT技術を活用した業務の効率化・経費節減策の実施等により費用の圧縮に取り組んでいるものの、長引く低金利政策がもたらした信用事業の収益力低下が農協全体の経営体力を徐々に奪っており、事業利益は減少し続けてゆく見通しとなっております。

このようななか、2023年度の信用事業においては、日本経済のデフレ脱却期待や好調な企業業績を背景に株高が進行し、株式売却益が想定を上回ったことから、当組合の収益全体を底上げする結果となりました。販売事業においては、主要農産物であるミカンの果実品質が良く、高価格帯での販売が続いたものの、終盤には高温等の影響により腐敗が進みロスが発生するなど、事業計画を達成することができませんでした。購買事業においては、予約購買の強化、年特肥料における奨励施策の見直しなど、組合員の農業経営を圧迫する生産資材高騰対策に取り組みましたが、生活購買・メモリアル事業が振るわず部門収益を押し上げるには至りませんでした。この他に柑橘共選場の更新に向けた協議や、各部門における新システム導入のための試験や準備など、業務の改善・効率化と組合員の皆様の利便性向上に努めてまいりました。

組合員をはじめとする利用者の皆様が当JAを利用していただいた結果、当期剰余金は260百万円となりました。更に、2024年3月期の自己資本比率は、13.29%と最低自己資本比率規制の4%を大きく上回っており、利用者の皆様に安心して利用していただける財務状態を確保しております。

最後に、JAしみずは、すべての組合員や地域の皆様に満足いただける取り組みを展開するとともに、「農協があって良かった」といわれる農協を確立し、将来にわたり安定した経営を目指してまいりますので、今後とも一層のご支援・ご理解を賜りますよう心からお願い申し上げます。



代表理事組合長

石切山 誠

2024年7月

## 概況

2024年3月末現在

設立	1972年10月1日
本店所在地	〒424-0192 静岡県静岡市清水区庵原町1番地
組合員数	正組合員 5,842人 准組合員19,180人 合計 25,022人
出資金	28億3,017万円
役員数	理事25人 監事6人
職員数	382人(うち正職員327人)

## 経営理念

私たちは、「農協があって良かった」といわれる農協を確立し、地域から愛され、組合員とともに歩む農協を樹立します。

## 2か年計画(2023~2024年度)

## ■持続可能な農業の実現に向けた「生産基盤」強化

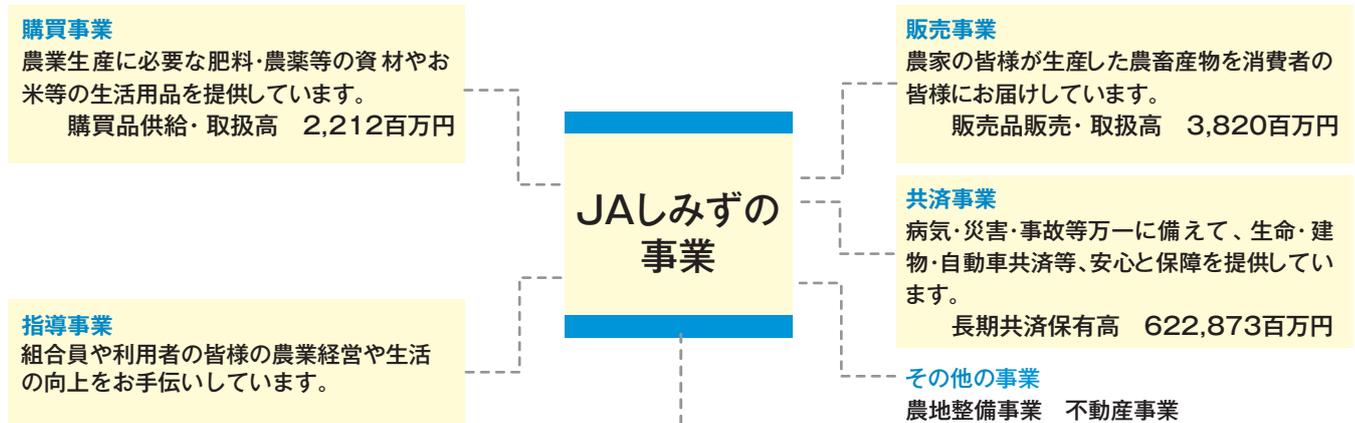
- 【基本目標1】 産地の維持・拡大に向けて農業振興を強化します
- 【基本目標2】 農家組合員の農業経営を強力に後押しします

## ■不断の自己改革の実践を支える『経営基盤』の確立・強化

- 【基本目標3】 持続可能な経営基盤を確立・強化します
- 【基本目標4】 新時代に対応した総合事業改革を行います

## ■JA運営の好循環に向けた組織基盤の強化

- 【基本目標5】 組合員との関係強化と人づくりに取り組みます



安心の「JAバンク」システムです。

貯金残高 309,894 百万円  
貸出金残高 83,764 百万円

## ■「JAバンク」システム

JAバンクは、貯金・ローンなど様々な金融サービスを通して皆様の暮らしをサポートします。

「JAバンクシステム」とは、静岡県下JA・静岡県信連をはじめ全国のJA・信連・農林中央金庫が実質的に1つの金融機関(JAバンク)として機能し、組合員・利用者の皆様により一層の「便利さ」と「安心」をお届けするためのシステムです。JAバンク(JA・信連・農林中央金庫)は豊富な資金量とワイドなネットワークを活かして総合金融サービスを提供し、組合員・利用者の皆様の生活の向上に取り組んでいます。

# 決算のあらまし

## 財産の状況 [貸借対照表]

### 資産の部

(単 位:百万円)

	2022年度	2023年度
現金	826	815
預金	191,535	193,140
有価証券	31,380	31,702
貸出金	82,421	83,764
貸倒引当金	▲ 233	▲ 236
その他資産	26,046	25,866
合計	331,975	335,051

### 負債・純資産の部

(単 位:百万円)

	2022年度	2023年度
貯金	306,384	309,894
諸引当金	597	517
その他負債	5,441	5,318
(負債計)	312,422	315,729
純資産	19,553	19,321
合計	331,975	335,051

(注)百万円未満を切り捨てて表示しているため合計に不具合があります。

預 金:静岡県信連等へ預け入れて運用しています。

有 価 証 券:国債等を購入し運用しています。

貸倒引当金:信用事業資産(貸出金)等の貸倒れに備えての準備金等です。

その他資産:土地、建物などの固定資産、未収金等の雑資産、系統機関等への出資金等です。

その他負債:借入金・未払金・仮受金等の雑負債等です。

純 資 産:皆さまからの出資金、法定準備金、任意積立金、当期末処分剰余金等です。

## 経営成績 [損益計算書]

(単 位:百万円)

	2022年度	2023年度
事業総利益	3,769	3,625
うち信用事業総利益	1,892	1,818
事業管理費	3,542	3,545
事業利益	227	79
経常利益	511	347
税引前当期利益または税引前当期損失(▲)	332	322
当期剰余金または当期損失金(▲)	282	260
当期末処分剰余金	1,394	1,451

(注)百万円未満を切り捨てて表示しているため合計に不具合があります。

事 業 総 利 益:各事業収益から各事業直接費を差し引いた金額の合計です。

事 業 管 理 費:人件費、業務費、諸税負担金、施設費等、労働や施設の管理に必要な費用です。

事 業 利 益:事業総利益から事業管理費を差し引いた差額です。

経 常 利 益:事業利益に受取出資配当金等の事業外収益を加え、支払利息等の事業外費用を差し引いた金額です。

税引前当期利益または税引前当期損失(▲):経常利益に固定資産処分益等の特別利益を加え、固定資産処分損等の特別損失を差し引いた金額です。

当期剰余金または当期損失金(▲):全ての収益から費用・損失・法人税等を差し引いた金額で一般企業の当期純利益に相当します。

当期末処分剰余金:当期剰余金に前期繰越剰余金などを加えた金額です。

## 健全経営チェックポイント

### 自己資本比率【健全経営のバロメーター】

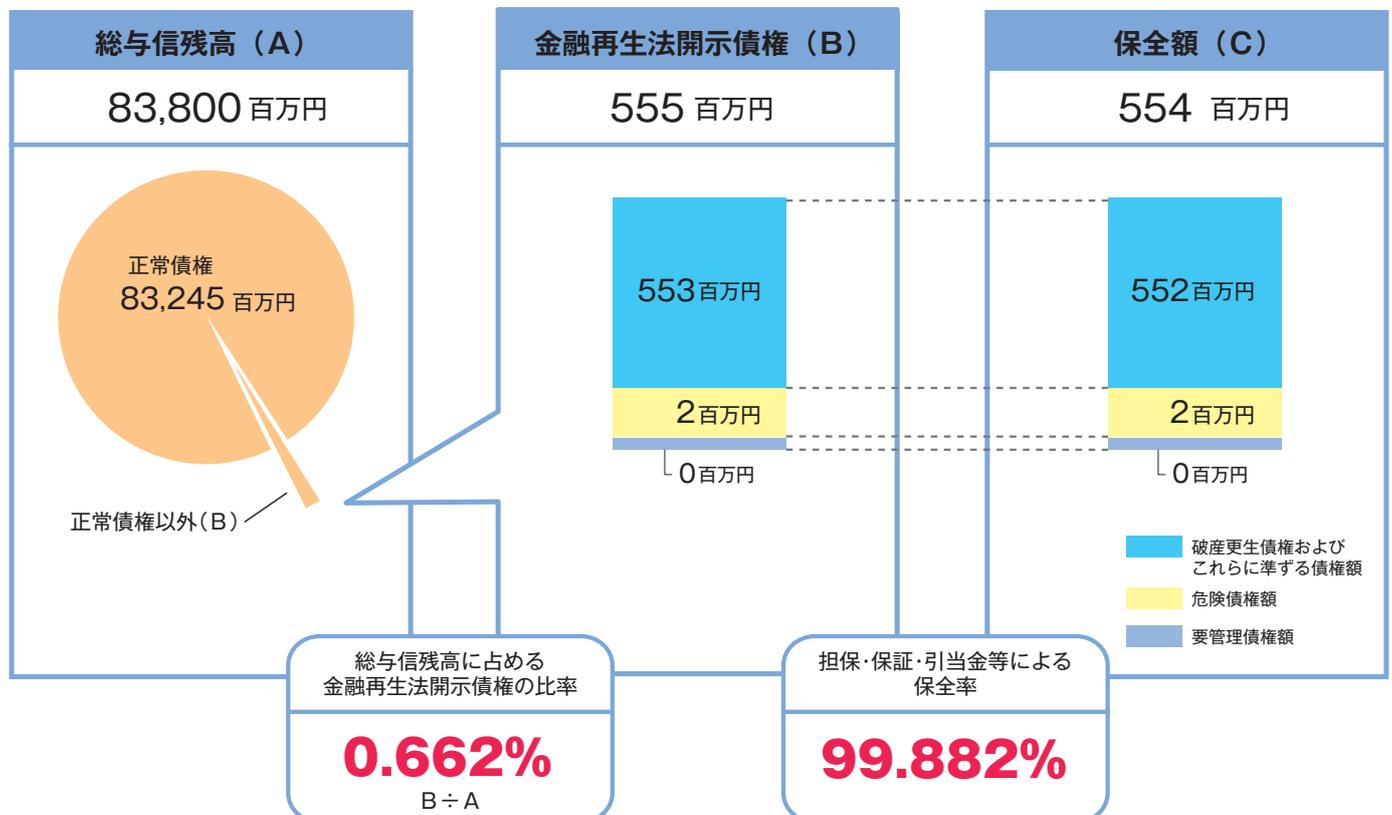
(単位:百万円)

自己資本額		19,714	A
リスク・アセット(注1)	リスク・アセット	140,996	B
	オペレーショナル・リスク÷8%	7,245	C
自己資本比率(注2)		13.29	$A \div (B+C)$

(注1) BIS規制(自己資本比率規制)に定義された自己資本比率を計算する際の分母に用いる証券や債権などの各種資産のことを指します。

(注2) 万一、運用により損失が発生しても、自己資本が十分確保されていれば、皆さまからお預かりした貯金の払戻しに不足することはありません。つまり、この比率が高いほど安全性は高くなります。なお、当JAは国内業務金融機関の基準4%を大きく上回っています。

### 金融再生法開示債権の状況



※上記比率は貸出金等のなかのどのくらい金融再生法の開示債権(全金融機関共通)があるかを示していますので、この比率が低いほど健全な貸出金等が多いといえます。当JAは健全な運用を行っており、堅実な経営をしています。

※貸出金等の回収が困難になるなど万が一の事態に備えて、どのくらい担保や引当金で手当て・保全ができていているかを示しています。当JAはこの率が99.882%であり、十分な保全措置をとっています。

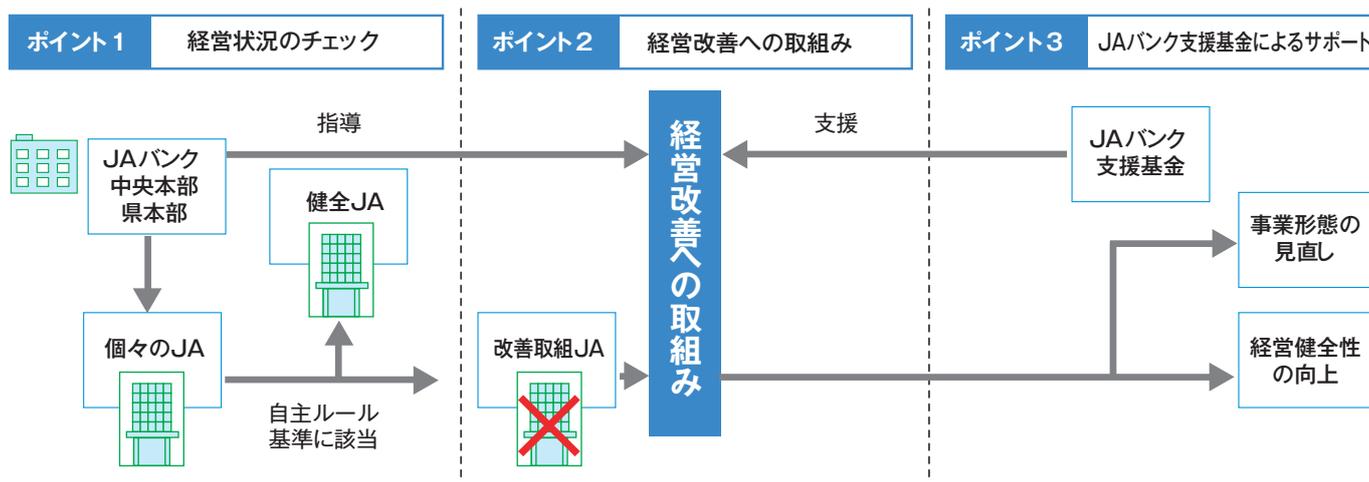
# 安心を支える2つの制度

## セーフティネットについて

当JAは、リスクに対応した経営と自己資本の充実に努めています。  
また、貯金はJAバンク制度と貯金保険制度で守られています。

### 安心① 破綻未然防止システム (JAバンク独自のシステムです。)

JAバンク全体で経営の健全性を確保し、組合員・利用者の皆さまに一層の安心をお届けします。



### 安心② 貯金保険制度 (国による公的制度です。)

貯金者を法律によって保護する保険制度です。(貯金には保険がかけられています。)

対象貯金等		対象以外貯金等
当座貯金 普通貯金 別段貯金	その他の貯金等 定期貯金、定期積金、 貯蓄貯金等	対象以外貯金等 外貨貯金、譲渡性貯金等
(注1) 決済用貯金(利息がつかない等の条件を満たす貯金)		
全額保証	合算して元本1,000万円までとその利息等 (注2)	破綻農水産業協同組合の財産の状況に応じて支払い (一部カットされることがあります)

(注1) 「無利息、要求払い、決済サービスを提供できていること」という3つの条件を満たすものです。

(注2) 1,000万円を超える元本とその利息等については、破綻農水産業協同組合の財産の状況に応じて支払われますので、一部カットされることがあります。

## 店舗一覧 市外局番(054)

本店	TEL.367-3200(代)	飯田支店	TEL.366-0217	草薙支店	TEL.345-3324
興津支店	TEL.369-1121	高部支店	TEL.346-0149	由比支店	TEL.375-2151
小島支店	TEL.393-3111	清水支店・三保支店	TEL.334-2525	蒲原支店	TEL.385-2156
庵原支店・両河内支店	TEL.367-3229	下清水支店	TEL.352-7128	ローンセンター	TEL.367-3268
袖師支店	TEL.365-1122	有度支店	TEL.345-4136		